

## 2025年2月 ILCA芦屋フリートレース成績表

Rank	Sail No.	Name	Class	Race1			Race2			Race3			Race4			Total	Net	
				着順	順位	得点												
1	217058	竹内修祐	ILCA7	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	3	
2	166990	福田育弘	ILCA7	DNC	DNC	9	2	2	2	2	2	2	3	3	3	16	7	
3	204996	己斐健太郎	ILCA7	2	2	2	3	3	3	4	4	4	5	5	5	14	9	
4	180152	浅原慈樹	ILCA7	DNC	DNC	9	5	5	5	3	3	3	2	2	2	19	10	
5	211648	中尾周史	ILCA7	3	3	3	4	4	4	5	5	5	4	4	4	16	11	
6	185356	柏木南帆	ILCA6	4	4	4	6	6	6	7	7	7	6	6	6	23	16	
7	166779	山中琢磨	ILCA6	5	5	5	8	8	8	DNF	DNF	9	7	7	7	29	20	
8	1990	橋本正毅	ILCA6	DNC	DNC	9	7	7	7	6	6	6	8	8	8	30	21	
				風向	190°			180°			160°			160°				
				風速	5kt			6kt			5kt			6kt				

西の順風の予報が見事に外れ、南の軽風が徐々に東にシフトして行く、非常に風が読み難い天候の中、4レースが行われました。  
運営艇から見ていて気になった点について書いておきます。

### 1 スタートのポジション取りについて

ILCA7の5艇はリーチにテンションを入れて、艇が風下ちることを防いでいましたが、ILCA6の3艇はリーチのテンションが入っておらず、ズルズルと風下に落ちて行く。

風下に落ちるのを嫌って、メインシートを引くとさらに風下に落ちる、というのを繰り返していたのが気になりました。

結果、折角風下から突き上げて上側の艇をいじめてもスタート10秒前には丁度良い加速スペースを与えてしまい、自分は風下のスペースを使い潰して加速できない。また、パンピングして加速しようとしてもリーチが緩むので加速が弱い。

ちょっとした心掛けで変えられる部分なので、チェックしてみてください。

### 2 ダウンウインドでのジャイブ

ILCA7の5艇が細かくジャイブを入れて、最短距離を走ろうと工夫している様は良い勉強になりました。

風が弱いとジャイブで速度を落とさたくない、という意識が働いて、メインシートにテンションを感じやすいバイザリーを継続しがちですが、例え艇速を一旦落とすことになっても最短距離を走るようにするのは大切なんだな、と思いました。

(佐々木)